事業所名		ほのかのおひさま						放課後	等デイ	サービス	、 支援プログラム	作成日	2024 年	12 月	1 日
法人(事業所)理念		子どもたちの発達に合わせた育ちを支援する場となる													
支援方針		「出逢えてよかった」の思いを大切に、病気や障がい、医療的ケアの必要な子どもたちが安心して通うことのできる事業所を目指します													
営業時間			9	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり なし			
サービス提供時間		放課後 休業日	13 9	時	30 30	分から	17 17	時	30 00	分まで					
		支援内容													
	健康・生活	・ご利用者の健康状態を把握し、さまざまなサインから心身の変化に気が付くことができるよう、きめ細やかな観察を行います。 ・ご利用者の気持ちを汲み取り、共感する中で、信頼関係を築きます。ご利用者と保護者との信頼関係を基盤とし、ご利用者自身が主体的に過ごせるように支援します。 ・個々に合わせた、医療的ケアを適切に行います。学校や家庭からの申し送りや様子をもとに、その日の過ごし方や活動への参加方法等をご利用者と一緒に考えます。 ・基本的な生活習慣の習得や身辺自立につながるよう、個々に合わせた支援を行います													
本人支援	運動・感覚	・視覚、聴覚、触覚、嗅覚等に働きかけた遊びの中で、保有する感覚を十分に活用し、楽しめる遊びを提供します。 ・好きな歌や流行りの曲を取り入れ、ダンスや体操、パラバルーン等で楽しく身体を動かすことができるよう支援します。 ・個々に合わせた安楽な姿勢で、楽しく活動に参加できるようポジショニングを行います。 ・いろいろな姿勢にチャレンジしたり、リラックスしたりできる方法をご利用者と一緒に考えながら行います。拘縮防止や側弯の予防等にもつなげます。 ・感覚の得意・不得意を見極めながら、遊びを提供し、日常生活動作の獲得につながるよう支援を行います。													
	認知・行動	・一日の流れや生活の流れが意識できるように見通しを持った支援を行います。ご利用者に合わせてスケジュール等の視覚支援を行います。 ・個々に合わせた活動方法の工夫を行い、繰り返し行う中で、ご利用者自身が興味・関心を持って活動に参加することができるよう支援します。 ・声掛けや視覚支援等で、ご利用者自身が選択し、意思決定を行うことができるよう支援を行います。 ・物の名称、色、形、重さ等、見たり、触ったり、聞いたりなどの実体験を通して感じられる遊びや活動を取り入れ、認知する経験を増やします。													
	言語 コミュニケーション	・目線や表情、発声など、個々に合わせた方法で思いを伝え、伝わった喜びを感じられるようにします。 ・物や様子、状況など、目で見たり、身体で感じたりしたことに言葉を添え、繰り返し伝えることで、言葉と物事が結び付くよう支援します。 ・絵カードやタブレット等を用いて、言葉以外でのコミュニケーション方法が広がるよう、一緒に考えます。 ・自分の気持ちや思いを言葉で伝える機会を増やします。楽しかったことや嬉しかったことなどを話したり書いたりして、一緒に振り返ります。													
	人間関係 社会性	・いろいろな遊びや活動を支援者や友達と経験する中で、楽しい、嬉しい、悔しい、悲しい等の感情を味わうことができるようにします。 ・外出等の機会を通してルールやマナーを守ることの大切さを意識しできるよう支援します。 ・自分や相手のことを理解したり、場面や状況に応じた行動を調整したりすることができるように関わります。 ・イベントや集団活動を通じて、仲間作りや集団への参加の機会を作ります。													
家族支援		各家庭、学校等との連携、相談援助 面談や担当者会議等の開催 保護者の就労におけるニーズへの対応									移行支援	保護者への情報提供 移行先、相談支援専門員との情報共有			
	地域支援・地域連携	外出や他事業所等との交流を通じた、地域との関					目わりを	つりを持つ機会の提供			職員の質の向上	年間計画に基づいた、社内、社外の各種研修への参加 職員主催の勉強会の開催 人事考課制度による定期的な評価			
	主な行事等	感覚遊び、音楽遊び、運動遊び、クッキング、外出、散歩、誕生日会 季節のイベント(お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、敬老会、疑似体験など) 児童発達支援のご利用者や併設の高齢者施設との交流、他事業所との合同イベントへの参加 茶話会													